

中山組のIT化への取組み

株式会社中山組

情報管理委員会 藤田 真一

社内LANの導入経緯

1. 建設CALS/ECへの適応
2. 社内業務の効率化 ワークシェアリングを考慮
3. 建設業とISO認証取得 認証取得に向け品質マニュアル・規定類の作成
4. 1997年10月情報システム委員会を設立 システム構築を円滑に進めるために
5. 1998年4月小規模LANの試験導入 約50人規模で試験運用
6. グループウェアソフト、ロータスノーツの検討 シェア・信頼性を重視し業務改善項目等を検討
7. 1999年6月の札幌本社新社屋完成をきっかけにパソコン一人一台体制へ。

社員研修

- ・Windowsの基本操作
- ・アプリケーション

ワード及びエクセル、CADの講習を雇用能力開発機構北海道センターの助成金制度により実施。

- ・LotusNotesの社内講習会開催

土木現場

1. 現場内小規模LANのモデル現場の設置
 - ・現場内の小規模LANを構築し将来の現場環境の検討
 - ・サーバー設置(デジタルカメラ写真、書類関係保存)、フィルムスキャナー、ネットワークプリンター等
2. 土木原価管理システム
 - ・実行予算書を元にして現場の原価管理、資材・工事の発注内訳作成を行えるシステム
3. 書式集CD-ROM
 - ・現場の業務に必要な社内及び発注者等への提出書類をワープロや表計算ソフトのテンプレート
5. デジタル写真管理
 - ・平成9年9月に旧建設省が写真管理基準(案)を改定に伴い、デジタルカメラと外部ハードディスク、MO、プリンタなどの周辺機器は職員が個人で準備。使用料を損料で精算
 - ・周辺機器の購入費用約20万円について、社員への貸付金制度(無利子)
6. ロータスノーツの利用
 - ・電子メール DB 工程・進捗・原価・作業指示等の報告
 - ・ワークフロー 職員勤務状況、休暇願、週休日出勤伺、事務用品注文など
 - ・現場写真掲示板
7. インフラ強化
 - ・インターネット活用(Bフレッツ100MB)
 - ・常時接続化(フレッツ)

キーワード:社内LAN グループウェア インターネット活用

連絡先:札幌市東区北19条東1丁目13-5 (株)中山組内 情報管理委員会 藤田

課題

1. 更なる高速回線サービスによる 現場⇄本支店、現場⇄現場の情報伝達速度の改善
2. 関連会社の IT 化推進
3. ノーツDBのWEB化
4. その他

これからの展望

国土交通省では当初予定の2004年から1年前倒し2003年には全ての工事を電子入札にて実施することになり、その他の地方自治体についても順次電子入札制度を導入して行くこととなります。電子納品についても、今後工事の規模により段階的に実施されていきます。

それに対応していくためには、ネットワークの構築まではいかないにしても、パソコンを導入し、インターネットへの接続環境を整える事は必要最低限だと思います。

しかし、建設CALS/ECで行われる内容に適応したインフラの整備、またはその導入時期で状況が異なり、どのようなスペックを持つサーバーまたはパソコンを購入するのか、また購入のタイミングであるとか、管理する人材等を確保できるかなど色々考慮しなくてはならないと思います。

最近では国土交通省（各整備局）で電子入札が進んでおり、弊社でも電子入札用のパソコンを社内ネットワークとは別に切り離し、カードリーダーを使った入札の検証も行っています。既に東京では電子入札を行いました。これからも社内体制の整備、さらに関係各所との情報交換、セミナー、検討会などに積極的に参加していきたく思います。

